

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 小林製薬株式会社

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 グループ統括本社本部長

(氏名) 山根 聡

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 06-6222-0084

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	63,760	4.9	9,877	17.0	9,473	17.0	5,362	7.9
21年3月期第2四半期	60,783	—	8,442	—	8,097	—	4,969	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	130.97	—
21年3月期第2四半期	121.01	120.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	130,142	82,592	63.3	2,012.66
21年3月期	125,210	76,364	60.9	1,861.14

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 82,417百万円 21年3月期 76,208百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
22年3月期	—	29.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	3.4	16,600	4.9	16,600	8.3	9,300	5.0	227.11

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第2四半期	42,525,000株	21年3月期	42,525,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,575,662株	21年3月期	1,577,568株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第2四半期	40,949,157株	21年3月期第2四半期	41,070,727株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により実際の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発の金融危機に端を発した世界的な景気後退の影響を受け、一部に景気底打ちを示す指標はあるものの、企業収益の悪化、雇用者所得の伸び悩みなどを背景とした消費者の生活防衛意識、節約志向が続くなど依然厳しい状況で推移しました。

そうした状況の中で、当社グループは経営理念である「創造と革新」の精神をフルに発揮し、新市場を創造する製品やサービスの提供により顧客の潜在ニーズを開拓し、また既存の参入市場に対しても新たな付加価値を付けた製品やサービスの提供により市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は63,760百万円と前年同期と比べ2,976百万円（4.9%）の増収、営業利益は9,877百万円と前年同期と比べ1,435百万円（17.0%）の増益、経常利益は9,473百万円と前年同期と比べ1,376百万円（17.0%）の増益となりました。当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は5,362百万円と前年同期と比べ393百万円（7.9%）の増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

家庭用品製造販売事業

当事業におきましては、今春、脂質の代謝を上げて過剰にたまった体脂肪を落とす漢方薬「ビスラット ゴールド a」、薄くて肌触りが良く洗いたての下着感覚で着用できるおりものシート「サラサーティ SoLaLa♪」、ソフトブラシの刺激が気持ちいい快感耳ブラシ「天使の耳かき」など9品目の新製品を発売し、売上拡大に貢献しました。また、新型インフルエンザ感染の懸念から額用冷却シート「熱さまシート」、のどに潤いを与えるマスク「のどぬる めれマスク」などの関連製品が好調となったことに加え、口中清涼剤「ブレスケア」、歯槽膿漏予防歯みがき「生葉」、通信販売を中心とする栄養補助食品が好調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は57,191百万円と前年同期に比べ2,659百万円（4.9%）の増収となりました。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益は9,724百万円と前年同期に比べ1,224百万円（14.4%）の増益となりました。

（売上高の内訳）

	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	10,621	19.5	11,017	19.3	396	3.7
口腔衛生品	6,563	12.0	7,173	12.5	609	9.3
衛生雑貨品	7,960	14.6	9,436	16.5	1,475	18.5
芳香・消臭剤	17,117	31.4	16,915	29.6	△201	△1.2
家庭雑貨品	2,134	3.9	2,282	4.0	148	7.0
食品	6,379	11.7	6,906	12.1	527	8.3
カイロ	3,755	6.9	3,459	6.0	△295	△7.9
合計	54,531	100.0	57,191	100.0	2,659	4.9

（注）売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計10百万円、当第2四半期連結累計期間では計21百万円となっております。

医療関連事業

当事業におきましては、国内では市場の拡大が見込まれる整形外科領域、手術室関連領域においてブランド認知とシェア拡大を目指した活動を展開し、米国イーベント社においては引き続き人工呼吸器の拡販に努めました。その結果、売上高は5,808百万円と前年同期に比べ415百万円（7.7%）の増収となりました。利益においては、売上が伸長したことから、営業利益は30百万円と前年同期と比べ279百万円の増益となりました。

（売上高の内訳）

	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
小林メディカルカンパニー	4,505	83.5	4,848	83.5	342	7.6
イーベント社	377	7.0	461	7.9	83	22.2
その他	510	9.5	499	8.6	△11	△2.2
合計	5,393	100.0	5,808	100.0	415	7.7

（注）売上高には、セグメント間の内部売上又は振替高は含んでおりません。

その他事業

上記の2事業をサポートする当事業（運送業、広告企画制作等）では、各社が独立採算で経営をしているものの、主要2事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は3,619百万円と前年同期に比べ225百万円（△5.9%）の減収、営業利益は142百万円と前年同期に比べ81百万円（△36.4%）の減益となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計2,975百万円、当第2四半期連結累計期間では計2,837百万円となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度と比べ増加し、81,269百万円となりました。これは受取手形及び売掛金、有価証券の増加などがあったことによります。

固定資産は、前連結会計年度と比べ減少し、48,872百万円となりました。これは投資有価証券の減少などがあったことによります。

この結果、総資産は前連結会計年度と比べ増加し、130,142百万円となりました。

負債は、前連結会計年度と比べ減少し、47,549百万円となりました。これは未払法人税等の減少などがあったことによります。

純資産額は、前連結会計年度と比べ増加し、82,592百万円となりました。これは利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加などがあったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高、利益ともに期初計画に比べて増加しました。

しかし、国内の事業環境は引き続き厳しい状況で推移すると予測していることから、現時点では平成21年5月7日に公表いたしました通期の業績予想は修正しておりません。

4. その他

- （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

- （4）追加情報

当第2四半期連結累計期間において、従来は有形固定資産の「建物」「構築物」「土地」に含めていた不動産の一部について保有目的を変更したため、3,109百万円を投資その他の資産の「その他」に振替えております。

なお、当該資産にかかる不動産賃貸料及び不動産賃貸原価は、それぞれ営業外収益及び営業外費用に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,064	22,814
受取手形及び売掛金	32,573	27,439
有価証券	9,002	6,000
商品及び製品	11,756	10,502
仕掛品	519	572
原材料及び貯蔵品	2,022	1,744
繰延税金資産	3,387	3,115
その他	1,022	1,081
貸倒引当金	△79	△97
流動資産合計	81,269	73,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,035	7,076
機械装置及び運搬具（純額）	2,005	1,661
土地	3,471	5,471
その他（純額）	3,671	3,408
有形固定資産合計	15,183	17,617
無形固定資産		
のれん	7,394	7,682
その他	2,270	2,361
無形固定資産合計	9,665	10,043
投資その他の資産		
投資有価証券	15,759	18,326
繰延税金資産	2,521	3,249
その他	5,942	2,859
投資損失引当金	△60	—
貸倒引当金	△140	△59
投資その他の資産合計	24,023	24,376
固定資産合計	48,872	52,037
資産合計	130,142	125,210

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,027	15,533
短期借入金	217	462
1年内返済予定の長期借入金	192	—
未払金	12,957	13,551
未払法人税等	2,253	4,455
返品調整引当金	1,112	1,277
賞与引当金	2,078	1,855
その他	3,132	2,699
流動負債合計	38,972	39,834
固定負債		
長期借入金	—	182
退職給付引当金	4,715	4,678
役員退職慰労引当金	34	1,576
その他	3,827	2,574
固定負債合計	8,577	9,011
負債合計	47,549	48,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	82,853	78,678
自己株式	△4,699	△4,706
株主資本合計	85,823	81,641
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△522	△1,725
繰延ヘッジ損益	△564	△728
為替換算調整勘定	△2,319	△2,978
評価・換算差額等合計	△3,406	△5,432
新株予約権	163	142
少数株主持分	12	12
純資産合計	82,592	76,364
負債純資産合計	130,142	125,210

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	60,783	63,760
売上原価	26,786	27,369
売上総利益	33,997	36,391
販売費及び一般管理費	25,554	26,513
営業利益	8,442	9,877
営業外収益		
受取利息	70	37
受取配当金	123	94
受取ロイヤリティー	217	220
不動産賃貸料	—	119
その他	124	143
営業外収益合計	535	615
営業外費用		
支払利息	62	47
売上割引	574	567
持分法による投資損失	101	148
不動産賃貸原価	—	38
その他	141	218
営業外費用合計	881	1,018
経常利益	8,097	9,473
特別利益		
営業権譲渡益	1,102	—
固定資産売却益	16	46
投資有価証券売却益	2	0
その他	26	5
特別利益合計	1,146	51
特別損失		
製品回収に伴う臨時費用	84	—
固定資産除売却損	55	153
投資損失引当金繰入額	84	60
関係会社株式売却損	—	1,456
減損損失	9	16
投資有価証券売却損	—	0
その他	14	103
特別損失合計	248	1,789
税金等調整前四半期純利益	8,995	7,735
法人税、住民税及び事業税	3,996	2,549
法人税等調整額	30	△177
法人税等合計	4,027	2,372
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△1	0
四半期純利益	4,969	5,362

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	32,295	33,187
売上原価	14,471	14,454
売上総利益	17,824	18,733
販売費及び一般管理費	13,149	13,584
営業利益	4,674	5,149
営業外収益		
受取利息	36	19
受取配当金	3	1
受取ロイヤリティー	112	106
不動産賃貸料	—	104
その他	43	62
営業外収益合計	195	295
営業外費用		
支払利息	29	27
売上割引	300	290
持分法による投資損失	10	100
不動産賃貸原価	—	37
その他	106	127
営業外費用合計	446	583
経常利益	4,423	4,860
特別利益		
製品回収費用見積差額	20	—
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
その他	2	3
特別利益合計	22	3
特別損失		
固定資産除売却損	54	67
投資損失引当金繰入額	37	35
減損損失	9	16
投資有価証券売却損	—	0
その他	18	20
特別損失合計	120	139
税金等調整前四半期純利益	4,325	4,725
法人税、住民税及び事業税	1,608	1,996
法人税等調整額	351	83
法人税等合計	1,959	2,079
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	2,366	2,645

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,995	7,735
減価償却費	1,370	1,435
のれん償却額	671	635
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	42	60
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	90	37
受取利息及び受取配当金	△193	△131
支払利息	62	47
持分法による投資損益 (△は益)	101	148
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	1,456
営業権譲渡益	△1,102	—
固定資産売却益	△16	—
固定資産除売却損	55	—
固定資産除売却損益 (△は益)	—	107
投資損失引当金繰入額	84	60
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,703	△5,017
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,174	△1,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	△279	1,455
未払金の増減額 (△は減少)	△676	△545
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△75	△95
その他	△213	△247
小計	1,039	5,729
利息及び配当金の受取額	335	124
利息の支払額	△60	△45
法人税等の支払額	△3,238	△4,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,923	1,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△104	—
有価証券の取得による支出	△12,485	△10,994
有価証券の売却(償還)による収入	14,800	8,500
有形固定資産の取得による支出	△835	△1,418
有形固定資産の売却による収入	22	117
無形固定資産の取得による支出	△418	△193
投資有価証券の取得による支出	△1,024	△522
投資有価証券の売却による収入	2	1
投資その他の資産の取得による支出	△151	△165
投資その他の資産の売却による収入	49	98
長期貸付けによる支出	△138	△68
長期貸付金の回収による収入	17	3
関係会社株式の売却による収入	—	3,500
営業権譲渡による収入	1,102	—
その他	—	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	835	△1,152

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△180	△268
長期借入れによる収入	209	—
自己株式の取得による支出	△1,673	△0
自己株式の処分による収入	204	—
配当金の支払額	△1,116	△1,185
リース債務の返済による支出	△355	△344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,910	△1,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	108
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,050	△1,749
現金及び現金同等物の期首残高	17,164	23,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,114	22,064

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

	家庭用品製造販売事業 (百万円)	医療関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	28,948	2,902	443	32,295	—	32,295
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	—	1,476	1,484	(1,484)	—
計	28,956	2,902	1,919	33,779	(1,484)	32,295
営業利益又は営業損失（△）	4,681	△76	100	4,704	(29)	4,674

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

	家庭用品製造販売事業 (百万円)	医療関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	29,683	3,144	359	33,187	—	33,187
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	—	1,426	1,441	(1,441)	—
計	29,698	3,144	1,785	34,629	(1,441)	33,187
営業利益	5,023	110	16	5,150	(1)	5,149

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	家庭用品製造販売事業 (百万円)	医療関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	54,521	5,393	868	60,783	—	60,783
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	—	2,975	2,985	(2,985)	—
計	54,531	5,393	3,844	63,769	(2,985)	60,783
営業利益又は営業損失（△）	8,500	△249	223	8,474	(31)	8,442

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	家庭用品製造販売事業 (百万円)	医療関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	57,169	5,808	782	63,760	—	63,760
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	2,837	2,858	(2,858)	—
計	57,191	5,808	3,619	66,619	(2,858)	63,760
営業利益	9,724	30	142	9,897	(19)	9,877

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 家庭用品製造販売事業…… 家庭用医薬品、口腔衛生品、衛生雑貨品、芳香・消臭剤、家庭雑貨品、食品、カイロ
- (2) 医療関連事業…………… 医療機器
- (3) その他事業…………… 運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、広告企画制作

3. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、家庭用品製造販売事業で724百万円、その他事業で1百万円減少し、また、医療関連事業で6百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間

該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高の金額は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。